

Do ^{your} 4 Best!

1学期、がんばりました！！

元気いっぱいスタートした1学期も、本日、終業式を迎えました。明日からは、子供たちが楽しみにしている夏休みです。本日お渡しした「あゆみ」をもとに1学期を振り返り、学習の総復習や読書をしたり、普段できないことをたくさん経験したりして、有意義な夏休みをお過ごしください。また、交通ルールをしっかりと守り、事故や怪我には十分に気を付けて過ごせるよう指導しております。ぜひ、お家の方からもお声掛けをお願いいたします。

保護者の皆様には、学校教育の様々な面で、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。2学期もどうぞよろしくをお願いいたします。

【7月の行事予定】

月	火	水	木	金
22 夏期補習教室 個人面談	23 夏期補習教室 個人面談	24 夏期補習教室 個人面談	25 夏期補習教室 個人面談	26 夏期補習教室 個人面談

※補習教室の対象児童には、お便りを配付しております。ご確認をお願いいたします。

【9月の行事予定】

月	火	水	木	金
2 ④ 始業式 下校時刻 12:25	3 ⑥ 給食始 読書月間始 (~10/6) 学研補習教室	4 ④ 安全指導	5 ⑥ 計測	6 ⑥ うきうき補習

【お知らせ】

○2学期始業式について

2学期の始業式は、9月2日(月)です。通常通り、8時5分から8時10分間に登校します。残暑が厳しいと思われます。あまり長い時間ピロティで待つことがないように、時間に合わせての登校のお声掛けをお願いいたします。4時間授業で、給食を食べずに下校となります。下校時刻は、12時25分頃となります。

<持ち物>

- 校帽 □上履き □防災頭巾 □筆記用具 □夏休みの宿題 □連絡帳
□あゆみ(表紙のみファイルに入れて持たせてください) □学習カルテ(ファイルごと)

※荷物が多いので、iPad、自由研究の作品、道具箱、体育着は、翌日でも構いません。

○夏休みの過ごし方について

保護者会でもお話をさせていただきましたが、夏休みは楽しいことがたくさんある反面、危険なこともたくさんあります。子供だけで、お金を持って遠出をすることがないようにご家庭でも、今一度夏休みの過ごし方の確認を行ってください。よろしくをお願いいたします。

【夏休みの宿題】

①漢字の復習（9月の1週目に1学期末に行った「漢字50問テスト」を再度行います。）

夏休みの宿題用に120字マスのノートのご準備をお願いいたします。夏休みの漢字ノートに、1学期の漢字ドリルの例文を全て練習します。例文の書き方は、日常の漢字の宿題と同じです。丁寧にマスの大きさに合う大きさを練習することが正確な文字の習得につながります。

②算数の復習（9月の1週目に1学期末に行った「たしかめよう」のテストを再度行います。）

1学期に使用していた計算ドリルに書き込み・丸付けをして提出します。また、4年1学期まで（前の学年の学習内容も含む）の復習にドリルパークを活用して取り組みます。

※iPadの使用の際はスクリーンタイムにも気をつけるよう指導しております。お家の方からのお声掛けもお願いします。

③自由研究または、自由工作

工作、絵、研究など、夏休みにしかできないものに挑戦できるように話しています。お時間がありませんでしたら、お子さんの相談にのっていただけると助かります。

※2学期に作品展を行います。作品カードに記入し、一緒に持たせるようお願いいたします。

例) <図工系>

- ・ 絵画
- ・ 工作（キット工作以外の物）→できあがるまでの説明書も作成

<理科系>

- ・ 植物や昆虫などの観察（図鑑やパンフレットづくりなど）
- ・ 簡単な実験など →実験のレポートも作成

<社会系>

- ・ 地域調べ（社会の学習を生かして、新聞やパンフレットを作るなど）

<国語系>

- ・ 漢字辞典の利用（問題を考えたり、自分の辞典を作るなど）
- ・ 作文 ・ 詩

<休み中の体験をもとに>

- ・ 旅行記（写真や入場券、切符などを貼って出来事を記録する。）
- ・ 体験記（料理をして作り方や写真などを貼る。博物館へ行って調べたことを新聞にまとめる。）

※以上、大まかな例を挙げておきましたが、これらに限られているわけではありません。

④読書3冊以上

2学期に読書感想文を書きます。題材にしたい作品の候補を選んでから読書に取り組むように声を掛けています。

⑤歯みがきカレンダー

⑥「環境をよくする絵画（ポスター）コンクール」

環境に関すること（リサイクルや自然を守る、ポイ捨て防止等）をテーマにして、ポスターを作成します。応募用紙と四つ切版の画用紙を配布いたします。

⑦タブレットでミライシードに挑戦！

4年生の学習とともに、3年生までの学習や先取りの学習に取り組み、この機会に苦手な学習を克服したり、得意な学習を深めたりできるように声を掛けています。